

記入例

農業経営改善計画認定申請書

令和 〇年 〇月 〇日

認定を受けている場所の長に
〇をしてください。

〇	富士見町長 殿
	長野県知事 殿
	関東農政局長 殿
	農林水産大臣 殿

申請者	住所	富士見町富士見 1 2 3 4－5 6 番地		連絡先	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
	フリガナ	フジミ タロウ	フリガナ	法人の方はこちらも記入してください。	
	個人・法人名	富士見 太郎	代表者氏名 (法人のみ)		
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和40年10月10日生	法人番号		

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画													
① 農業経営体の営農活動の現状及び目標													
(1) 営農類型													
現 状						目 標 (令和 〇〇 年)							
☐ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☒ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 複合経営						☐ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☒ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 複合経営							
☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()						☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()							
(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標													
年間所得		190 万円		300 万円		年間労働時間		2000 時間		3,000 時間		主たる従事者の人数	1 人
主たる従事者1人 当たりの年間所得		155 万円		265 万円		主たる従事者1人 当たりの年間労働時間		1500 時間		2,000 時間			
② 農業経営の規模													
(1) 生産													
「年間所得」÷「主たる従事者の人数」または、専従者給与を支払っている場合はその差額を記入してください。													
265万円以上にしてください。													
目標所得の265万円以上が達成できるような生産規模となるようにしてください。													
(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業 (売上げ)													
自身で加工・直売などを行っている場合は記入してください。													
万 円 万 円													

(3) 農用地及び農業生産施設

ア 農用地

区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (令和〇〇年) (a)
	都道府県名	市町村名			
所有地	長野県	富士見町	田	100a	100a
	長野県	富士見町	畑	20a	40a
借入地	長野県	富士見町	田	50a	100a
その他					
経 営 面 積 合 計				170a	240a

イ 農業生産施設

種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (令和 〇〇 年)	
			棟	m ²	棟	m ²
パイプハウス	長野県	富士見町	15棟	3000m ²	20棟	4000m ²
経 営 面 積 合 計			11棟	2300m ²	15棟	3500m ²

③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置

水稻 現状：慣行栽培による生産
目標：施肥方式の省力化、減農薬、適期収穫、適正品種の導入
菊 現状：ポット栽培
目標：直挿し栽培、選花機の導入、長期切作型
蕎麦 現状：適期播種・適期収穫
目標：田んぼの排水対策をすることで収量を上げる 等

④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置

現状：簿記記帳しているが、詳細な経営の状況がしっかり把握できていない。
目標：複式簿記記帳、経営と家計の分離、青色申告実施、法人化、遊休資産処理、マーケティング強化 等

⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置

現状：特に休みを決めていないので生活にメリハリがない。
家族生活の延長的経営、後継者問題 等
目標：休日制度、ヘルパー制度、臨時雇用の導入、給料制導入、福利厚生の充実、家族経営協定、新規若年従業員の採用、後継者確保 等

⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置

③④⑤以外の取り組みがあれば記入してください。

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員

氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 在		見 通 し (令和 〇〇年)	
				担当業務	年間農業 従事時間	担当業務	年間農業 従事時間
富士見 太郎	47	男	(代表者)	農作業全般	1,500時間		2,000時間
花子	45	女	妻	農作業全般	500時間		1,000時間

(2) 雇 用 者

常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見 通 し	人
臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	1 人	見 通 し	2 人
	延べ人数	現 状	30 人	見 通 し	60 人

主に経営に関わる役割を担う方に○をしてください。

1日を8時間として計算してください。

目標は、提出日から5年後となります。
例:令和6年に提出⇒目標は令和11年

8時間/人として臨時雇の延べ人数(労働日数)を計算してください。

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

[illegible]

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3)農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)